

# arara

株式会社クラウドポイントとの経営統合および  
純粹持株会社体制への移行について

アララ株式会社  
東証グロース：4015

2023年10月13日

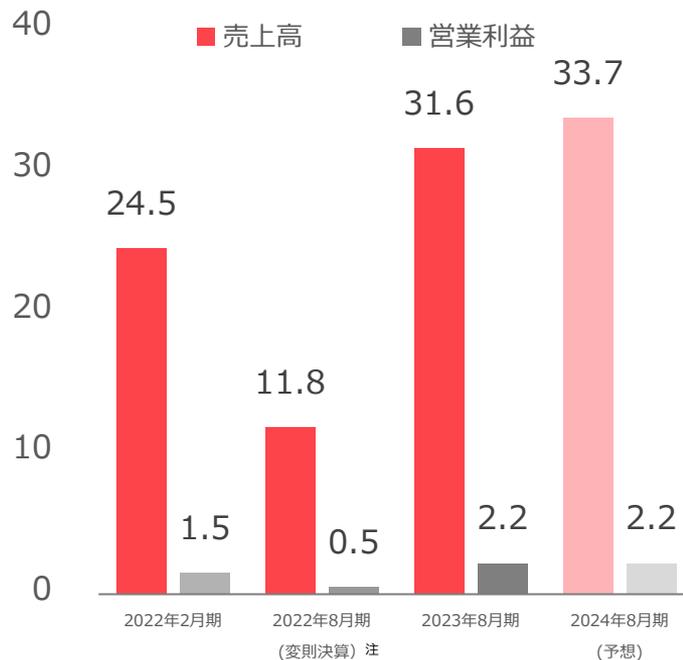
1. クラウドポイント社について
2. クラウドポイント社のサービスおよび強み
3. クラウドポイント社の事業の成長性について
4. 中期経営計画におけるクラウドポイント社の位置づけについて
5. クラウドポイント社との経営統合による中期経営計画への影響について
6. 経営統合手法および純粹持株会社体制への移行について

# クラウドポイント社について

商号	株式会社クラウドポイント
Web	<a href="https://www.cloudpoint.co.jp/">https://www.cloudpoint.co.jp/</a>
本社所在地	東京都渋谷区渋谷2-16-1
設立	1990年10月
事業内容	デジタルサイネージ スペースデザイン メディア
資本金	230,000千円
決算期間	9月1日～8月31日
代表取締役	三浦巖嗣
従業員数	97名（2023年8月時点）
拠点	東京本社、大阪オフィス、福岡オフィス

（億円）

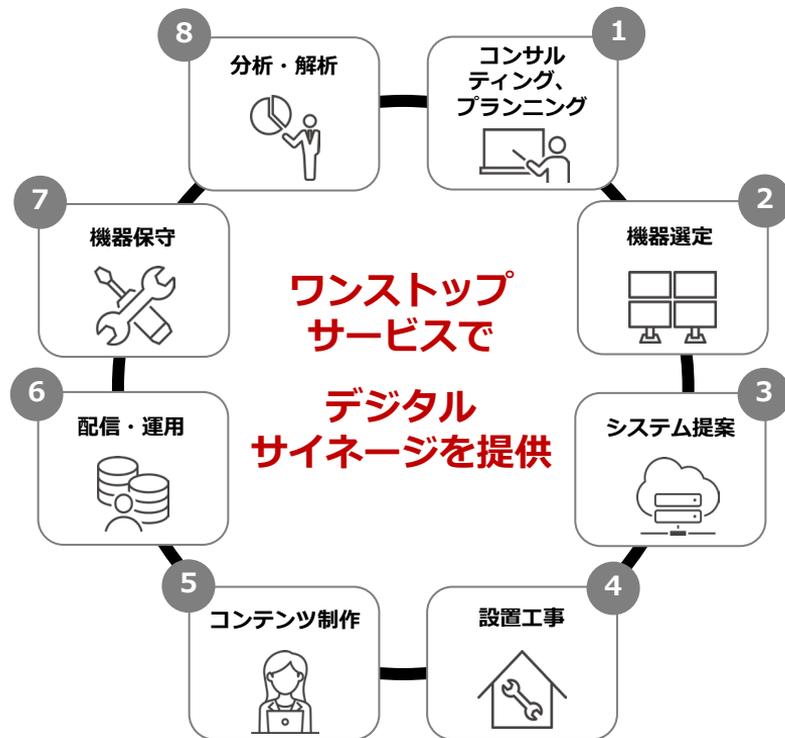
## 直近3年間の単体経営業績および 2024年8月期業績予想



注) 決算期変更により2022年8月期は2022年3月～8月の6か月分になります。

# クラウドポイント社のサービスおよび強み

飲食チェーン店、ショッピングセンター、コンビニエンスストアなど全国20,000カ所、48,000面<sup>注</sup>へデジタルサイネージを提供。導入から運用に係る全ての業務をワンストップで行う強みを活かし、顧客の人手不足解消、店舗DXを推進する。

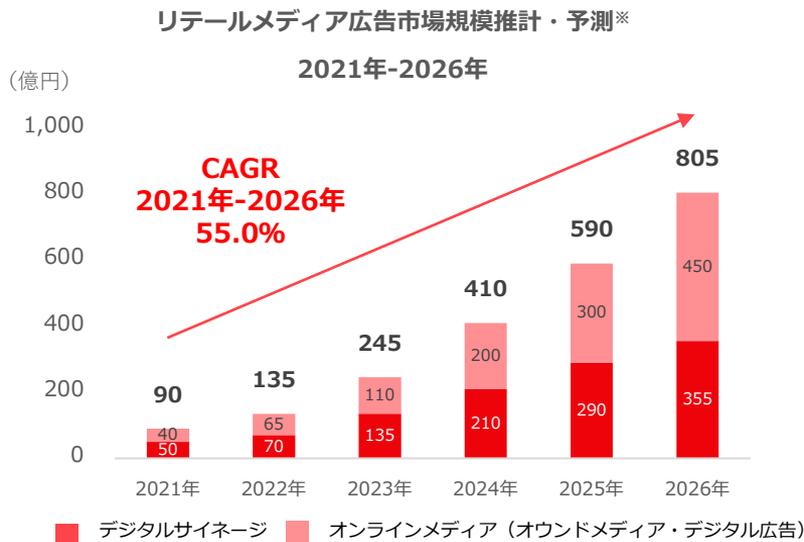


注：2023年8月末現在/クラウドポイント社調べ

事例：  
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/case-170816/>  
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/case-200402-2/>  
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/case-191128-2/>

# クラウドポイント社の事業の成長性について

サイトの閲覧履歴の記録「クッキー」をネット広告に活用するハードルが上昇。販売促進の情報発信プラットフォームとして店頭でのサイネージの活用が拡大すると予測。当社グループの既存顧客へのデジタルサイネージ販売により事業拡大を見込む。



小売店での情報発信は「リテールメディア」といわれている。発信される情報をもとに、すぐに商品を手にとれることから購買につながりやすいとされる。

電通グループ傘下のCARTA HOLDINGSの22年9月の試算によると、リテールメディア広告の26年の市場規模は22年の約6倍の805億円に成長する見通し。

※出典：株式会社CARTA HOLDINGS [https://cartaholdings.co.jp/news/20220927\\_2/](https://cartaholdings.co.jp/news/20220927_2/)  
2021年は推計、2022年～2026年は予測

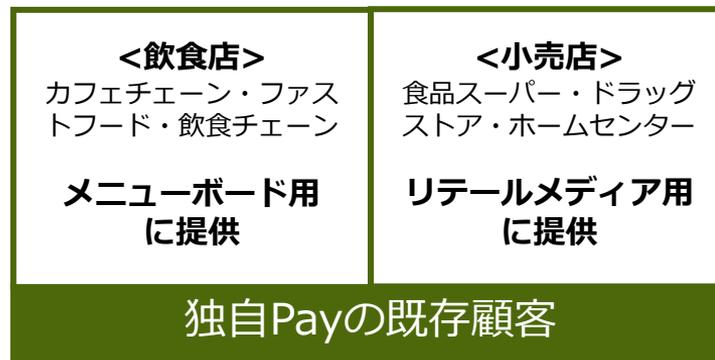
Cloudpoint



valuedesign



代理店として販売

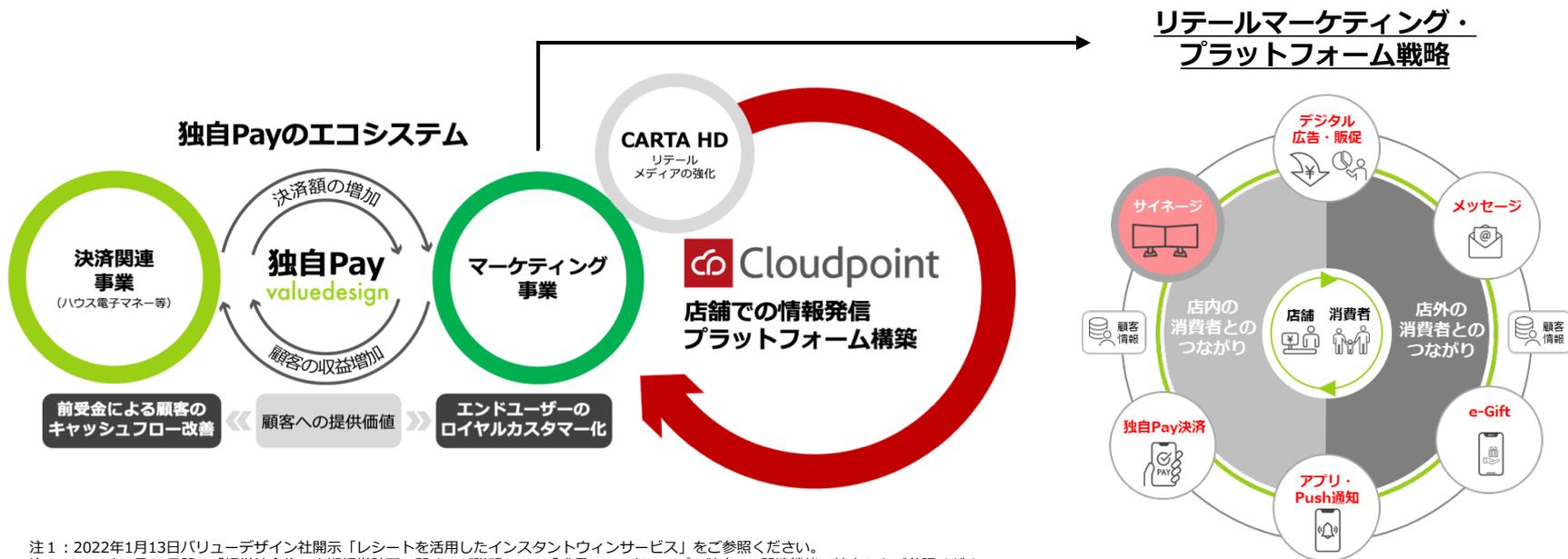


# 中期経営計画におけるクラウドポイント社の位置づけについて

中期経営計画の骨子となる左図の「独自Pay」のエコシステムの加速にむけ、マーケティング事業領域の強化が必要。

- ・ 店内の消費者とのタッチポイントは、デジタルサイネージ。デジタル広告・レシート応募型販促<sup>注1</sup>・チャージバック<sup>注2</sup>を通じて、消費者は独自Pay決済でお得なお買い物を実現。
- ・ 店外の消費者とのタッチポイントは、アプリ等を通じた店舗やメーカー提供のクーポンやお買い得情報の通知。e-Giftによる来店促進サービスも実現。

統合的に「リテールマーケティング・プラットフォーム」として提供するのが、マーケティング事業の根幹

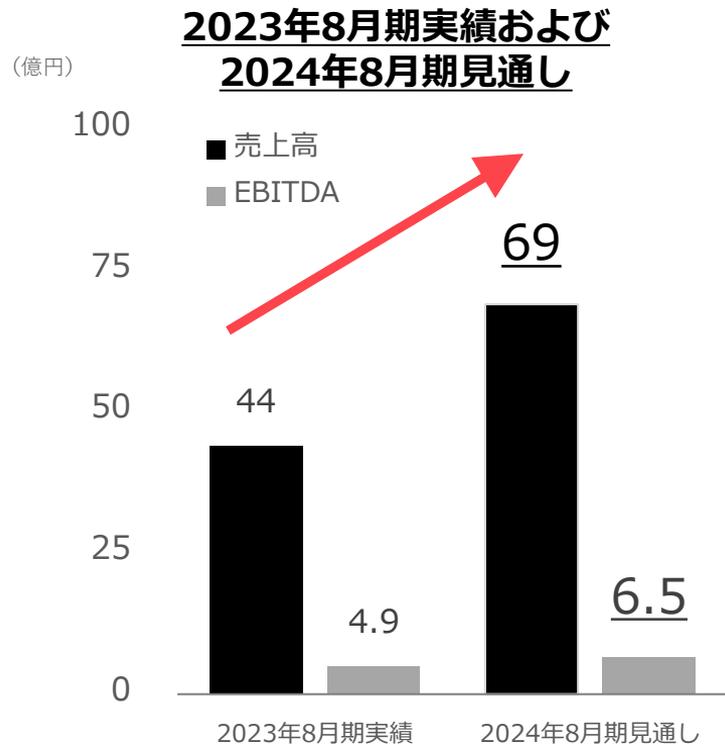
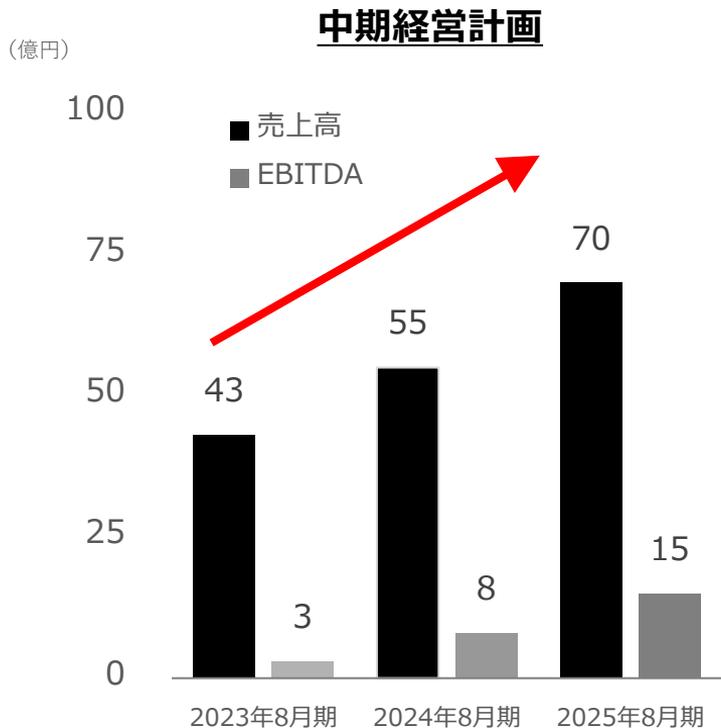


注1：2022年1月13日バリューデザイン社開示「レシートを活用したインスタントウィンサービス」をご参照ください。

注2：2022年3月15日開示「経営統合後の中期経営計画に関するご説明」P17「成長のロードマップ 独自Pay関連機能の拡充」をご参照ください。

# クラウドポイント社との経営統合による中期経営計画への影響について

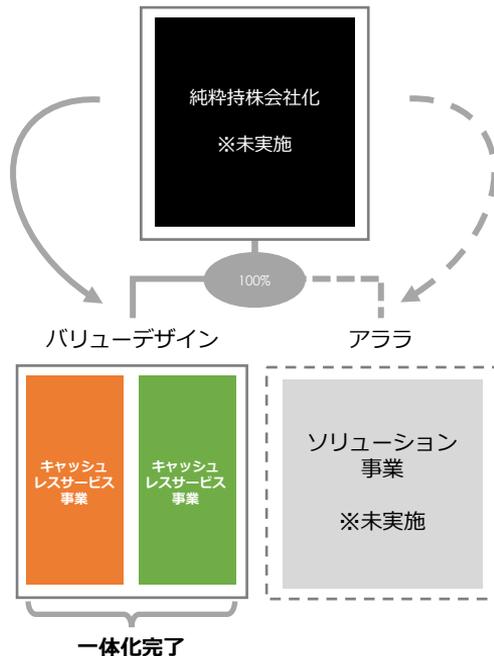
2024年3月からクラウドポイント社の業績を連結する予定。それにより、2024年8月期については、売上高が69億円、EBITDA6.5億円となる見込みであり、売上高については、中期経営計画を上回る見通し。



# 経営統合手法および純粋持株会社体制への移行について

株式交換によりクラウドポイント社を完全子会社化。中期経営計画時に予定していたソリューション事業の吸収分割を計画。両社とも2024年3月から連結子会社化を予定。それに伴い、アララは、社名変更及び純粋持株会社となる。11月の定時株主総会にて承認決議予定。

## 2023年1月にキャッシュレスサービス事業のみ一体化完了



## 2024年3月から純粋持株会社体制へ移行予定



本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。